

国際フェリー3航路 開催週、大阪寄港を回避

【関西】28、29の両日に大阪市で開かれる20カ国・地域首脳会議（G20大阪サミット）で、大阪港に寄港する国際フェリー3航路の対応が13日までにそろった。各社とも国際フェリーターミナ

ルがある咲洲地区での交通規制を踏まえ、サミット開催週の大阪寄港を回避する。大阪・神戸両港と上海

本側寄港地を大阪から神戸に変更する。24日に神戸港に到着、翌25日に同港をたつ。通常、新鑑真は神戸、大阪両港を交互で隔週火曜に寄港している。今回のスケジュール変更によ

り18、25両日および7月2日と3週連続で神戸に寄港し、大阪への寄港再開は7月9日出港便とす



大阪港国際フェリーターミナルに寄港する3航路はサミット開催週の大阪寄港を回避（13日撮影）

る。また大阪―上海間の国際フェリー「蘇州號」を運航する上海フェリーは、サミット開催週に限り大阪港に代わり神戸港に寄港する。6月27日に神戸港着、翌28日正午に同港を出港する。神戸での寄港先はポートターミナルの新港4号突堤。大阪―釜山間の国際フェリー「パンスタードリーム」を運航するサンスターラインは、27日釜山発と28日大阪発の運航を休止する。運航再開は30日釜山出發便からで、大阪出發便は7月1日からの再開となる。大阪港国際フェリーターミナルは、サミット会場となる南港・咲洲地区にある。大阪府警は24日から咲洲で一部交通規制を開始、会期を挟む27・30日は大阪南港や同市内、阪神高速道路、関西国際空港周辺などで大規模な規制を敷く。フェリー各社はこうした警戒体制下で利用客の円滑な移動は困難だと判断。サミット開催週は大阪を抜港することで、混乱を未然に回避する。